

議会報告会のあり方について

○防災教育センターでの議会報告会に参加した。熱心な説明でよくわかったが、参加者が少なかった。広報をしっかりとやるなど、もっと身近に感じられるようなことをやったほうがいいのではないか。

→ 議員）確かに、都市・環境常任委員会の防災教育センターで行った議会報告会は参加者が6名だったが、その前の回の川島地区市民センターで行った際は参加者が50名ほどいた。

○川島地区では地区市民センターの館長や連合自治会長が広くコマーシャルをしていた。

→ 議員）自治会長や館長など、パターンはいろいろあるが、声かけをしているときには参加者がたくさんいるが、広報等の周知だけでは全く人が集まらない。試行錯誤しているが、こうした人が集まるのではないかというご意見をいただけたらと思う。

○小山田地区では参加者は多かった。

議会報告会の質疑応答にあまり時間が取れないという欠点がある。事前に質疑応答を集約するというような方法を取り入れると短い時間でももう少し深く掘り下げた意見交換ができるのではないか。同じ時間に複数の委員会の議会報告会があるので、一つの委員会にしか参加できない。参加者については、議会だよりをよく読んでいる人や、議会の流れがわかっている人に参加してほしい。テーマと異なる意見などをしっかり切れるような事前準備や運営の仕方をしたほうがいいのではないか。

○最低でも、2つの委員会が同時に行っているのを別々にしてほしい。平日の夜だけでなく、土日に開催するなど幅広く行ってほしい。若者や子育て世代などターゲットを絞るのもいいと思う。

また、質問があったときに答えられるよう議員も勉強してほしい。

→ 議員）議員も勉強を積み重ねていかなければいけないと思っている。ターゲットを絞るのはいい考えだと思う。

○人が集まらないのはみんなが無関心だから。議員個人の市政報告会のほうには人が集まっている印象がある。もっとそういうものも頻繁に開いたり、ほかの議員と合同で行ったりして議会に興味を持つ人を増やしてはどうか。例えば市政報告会に制約はあるのか。

→ 議員）あくまで議員個人の市政報告会なので、そこに公費は使えない。気の合う議員同士で行うのは可能だが、それはあくまで個人の活動として行っている。

○その場で報告された内容に対して、すぐに質問したり意見を述べたりというのが市民にとっては難しい。少なくとも半月くらい前には、どんなことを報告するのかを簡単にまとめて公開するなどすれば、議会報告会が関心を持たれるようになるのではないか。ただ報告会があるとだけ広報するのでは人は来ないのではないか。事前に質問等を準備できるような仕組みをお願いしたい。

→ 議員）議会が終わった直後に一番新鮮な情報を皆さんに届けたいという思いで現在議会報告会を行っているが、気持ちを切り替えて、時期を遅らせてそうした告知をしたうえで議会報告会を行うのは可能だと思う。なぜこういう議決になったのかという気持ちを事前に持って参加できるという点で、このアイデアは参考にはできるのではないか。ただ、やるのであれば、会場に合った内容でないと人は集まらないように思う。

○今はどのように広報しているのか。

→ 議員) 市議会だより、市民センターでの掲示、ホームページでの広報のほか、その地区によって、市民センターの館長や自治会長がそれぞれの判断で呼びかけを行ってくれている。

→ 議員) 議員もチラシを20枚くらいもらって配布している。

○川島地区で学生が多かったのは、講義で議会報告会に行くようにというものがあったからだと思う。それ以外で学生が行くには、議会報告会はハードルが高い。学生にとって身近に感じられるところで報告会をしてもらいたい。例えば、大学で場所を借りて議会報告会を行うということはできないか。

→ 議員) 可能である。実際に過去にもやったことはある。例えば、大学、高校、老人会、業界団体、法人団体など、ピンポイントでこちらからその団体などの施設にお邪魔しに行くというのも個人的にはありだと思う。市民の皆さんの感覚からするとこうしたことはどうか。

○いい感覚だと思う。そういう中に障害者なども含めて、言えないようなことを聞くのも大変いいことだと思う。団体ごとに要望も全然違う。

○もし大学で行うのであれば、サークル活動が終わってそのままいけるようにしてもらえると、学生も行こうかなという気持ちになるのではないかと思う。

○傍聴するよりも議会報告会のほうがわかりやすかった。委員会の傍聴が一番身近に感じて聞きやすかった。

○30歳代40歳代の子育て世代の女性が少なかった。平日の夜は子供の夕飯やお風呂の用意など気にしなければならないことが多いので行くのが難しい。かといって、お母さんたちも働き方が様々なのでどの時間帯、曜日とは言いつらい。

→ 議員) 託児ルームを完備し、保育士2、3人でその間はお子さんを預かりますというようながあると来やすいかもしれない。

○託児があると、私たちも行っているんだという意識が高まる。初めて議会報告会に行ったときに、これは私も行っているのかと思い、非常に敷居が高かった。私も行っているんだと思えるようなPRがあってもいいのかなと思う。

○自分たちが言った意見が果たして議会まで届いているのか不安になる。市議会に意見が届いているというのが目に見える形であればシティミーティングに参加しようと思うお母さんたちが増えるのではないか。

→ 議員) シティミーティングでいただいたご意見は箇条書きにして全議員に配布をして、全部目を通して。私たちは普段いろいろなところから声を聴き最終的に決断をしている。しっかり届いているというのはご信頼いただきたい。

○議会報告会の手話通訳は団体から依頼があって配置しているのか。他の市議会でもやっているのか。

→ 議員) 要求があったわけではない。どんな時でも手話通訳者が入っているケースは市議会としては全国でも少ないと思う。事前予約制の場合が多い。人によっては誰もいないのに手話通訳者に経費をかけて無駄だとおっしゃる方もいるかもしれないが、事前申し込みという一つのハードルを取り除くことで、いつ行っても手話通訳者がいるということを知ってもらい、来てもらうことが一つのメリットであり、こうした取り組みにより、あらゆる障害を持つ人たちにハードルを下げているという姿勢を見せることができるという意味がある。

市議会だよりについて

- 市議会モニターになる前に市議会だよりを読んでいた・・・4人、読んでいなかった・・・5人
 - 時間がなく、なかなか読もうという気が起こらない。
 - 文字が多い、どこから読んだらいいのかわからない。目を引くキャッチコピーのような、これについてはここを読めばいいとわかるようにしてもらいたい。
 - 内容的に難しいところもあるが何とかかみ砕いて読んでいる。読みやすいと思う。
 - 密度が高く、読みにくさはあると思う。密度が高くて小さい冊子ならちょっと手に取って暇つぶしに読んでみたりできるかもしれない。
 - 一字一句の表現で意味が変わったりするので、気を遣って文章を作っているのがよくわかり、事務局の苦勞がにじみ出ていると思う。
 - 一般質問のDVDを借りて市議会だよりと見比べてみたら、実際の一般質問の内容と差異があったように感じる。これは議員にチェックが入って最終的に記事になっているのか。
 - 議員) 一般質問の欄は基本的に議員が自分で書くということになっているが、議員が実際に言っていないことを好きに書くわけにはいかないので、事務局のチェックは入る。基本はこういう形で、議員が自分で書けない場合に事務局にお任せして議員が最終チェックをすることもできる。
 - 一般質問の欄で、一般質問をした議員と項目のなかで複数の項目について質問している議員はその中から一つを選んでいるのか。
 - 議員) 市議会だよりに掲載するルールで、複数の項目について質問するのは可能だが、掲載するのは一つと決めている。
 - 以前と比べて読みやすくなったと思う。
 - 現在20ページ前後だと思うが、これ以上ページ数を増やさないようにして、関心を持てるように中身を改革していけばいいと思う。
- 議員) 予算的にページ数を増やすというのが難しい事情もあるので、情報量を減らしても現在のものより字を大きくしたほうがいいのか。感覚的にどう思うか。
- 大きくするべきである・・・2人、今の大きさがいいと思う・・・7人
 - 文字のポイント数が同じページで違うところがある。8月定例月議会号でいうと2ページの上部分くらの文字の大きさがいいのではないか。
 - 数字の全角半角がバラバラなので統一したほうがいいのではないか。

議員) 新聞の投書欄のように、市議会モニターの皆様からコメントをいただいて議会だよりの最終面あたりに掲載するとしたら書いていただけるか。

○記名式か。

→ 議員) 無記名でと思っている。

- 難しいと思う。8月定例月議会号に6月定例月議会についての意見や感想を載せたところで一貫性がない。市議会モニターは地域のボランティアをしている人が多くさらにそれをするととなると、市議会モニターやほかのボランティア活動を勘弁してよという人が出てくるのではないかと思う。
- 市議会モニターが感じていることが掲載されるのはいいと思う。モニターの意見を参考に改善された事項について知らなかったのをこれを知ることにより身近に感じると思う。

議員) 表紙についてはどう思うか。

○8月定例月議会号は議員の写真が載っていて、どんな人がいるのかよくわかっていいと思う。委員会のメンバーを紹介する目的なら、何委員会か書いたほうがいいし、これはセンスの問題かもしれないが、ほかの写真は不要かなと思う。

その他

○委員会を傍聴しているときに、果たしてその地区の人はそう思っているのかなという思いがあったが、傍聴だったので言えなかった。委員会の前などに、直接議員に話をする機会があったらいいなと思った。

○委員会傍聴中に発言できないのはわかっているが、聞きたいことがあった場合どうすればいいか。

→ 議員) 自分に話をしたいと思っている人を撥ねつけるような議員はいないと思うし、議員の連絡先はホームページに載せているので、敷居は高く感じるかもしれないが、こういう話があるので聞いてもらいたいというようなアクションを起こせば断る議員はいないと思う。気楽に話を聞いてくれるのだということをぜひ周囲の方にお伝えいただきたい。もし委員会中にどうしてもということであれば、それを聞いてどう対応するかはそれぞれの議員の判断によるので約束はできないが、委員会の休憩中に議員を捕まえてその旨をお伝えいただくという方法もある。ただし、あくまで委員会では出された議案に対して質疑、意見交換を行う場であり、市民の方の声を聴くための場ではないというのが前提である。

○傍聴席の階段の1段1段が高く、高齢者には大変である。あれは何とかならないか。広くどなたでも傍聴に来てもらうためには大きなネックになっていると思う。

→ 議員) 検討中のためきちんとお話しできないが、何とかしようと検討はしている。

○市議会だよりに興味を持ってもらえるようにという意味でキャラクターを作ってはどうか。用語解説の部分などに使ったりすると、お子さんなどは読めないと思うが「あ、〇〇だ」と興味を持ってくれるかもしれない。

議会報告会のあり方について

○議会報告会は、例年20人くらい参加しているという記憶があったが、前回、10人程度であまりにも人数が少なく驚いた。例えば、自治会や社協などの諸団体の関係者に働きかけることが、議会報告会のかたちを整えることに役立つのではないかと思った。また、シティ・ミーティングの3分の2はイノシシの話であったが、議会報告会の部分をもう少し詳しくして、シティ・ミーティングと半々になるようにすると良いのではないかと感じた。いずれにしても、参加者をもっと増やす努力が必要ではないかと感じた。

→ 議員）参加者が減少していることは議会としても悩んでいるところであり、議論をしている最中である。ぜひいろいろな意見を聞かせてほしい。

○10月の議会報告会に参加したが、参加者がものすごく少なかった。参加者よりも議員の人数が多いというようないびつな恰好になっていたのも、そこは検討してほしい。また、同じ日に別の委員会の議会報告会が開催されており、2か所に行きたいと思っても参加することが不可能となっていた。日にちを分けて開催してほしい。

○同じ日に2か所開催していると、両方行ってみたくとも行くことが難しい。せっかくの機会が制約されることは残念だという印象を持った。また、シティ・ミーティングのテーマは当日発表されているのか。

→ 議員）テーマは事前にチラシとホームページでお知らせしている。

○テーマを調べずに参加したため、もう少し勉強しておくべきだったと自分なりの反省である。

→ 議員）なかなかテーマの告知が行きわたらないという課題もあると思っている。

○私も参加者が少ないと感じた。班分けするまでもなく、今までで一番少なかった。

→ 議員）ある程度人数が集まれば、班分けをしてグループディスカッションを行ったあと、全体で情報共有をすることも可能であるが、小人数であったため一括で行ったのだと思う。

○議会報告会に参加した際、災害時に自主避難できない方が、どこにどのような状態で住んでいるかの情報を組長はもっていないため、介助することができないという問題があり、どのような方法で手助けをしたらよいのかと質問したが、的確な返答はなかった。そういった問題についても考慮してもらえたらと思う。

→ 議員）シティ・ミーティングの場で結論が出せる立場ではないが、避難困難者の情報共有について、委員会で持ち帰り所管事務調査で取り扱うことなどもあるのではないかと思う。イノシシの話も有害鳥獣の問題を所管事務調査としてテーマに取り上げている。これから解決に向けて何ができるのか市民の方の意見も聞きながら進めていかなければならないと思っている。かたちとして見えるように努力していかなければならない。

○神前と川島の議会報告会に参加したが、参加者が非常に多く、神前は特に意見も活発であった。長らく現役で仕事をしてきたため行政に携わっておらず、専門的な話についていけなかったところがあり驚いた。世の中の動きが分かり、ためになると感じた。

○開催時間が、18時半から20時45分というのが、主婦はなかなか出られない時間帯である。興味があ

っても出向いて行くことができないので残念な感じがする。

→ 議員) 市議会としても、年に1度、土日での開催や民間の商業施設で開催するなどの工夫をしているが、参加者が増えているということもなく、厳しい状況がある。根本的に参加者を増やす努力をしなければならないと思っている。

○シティ・ミーティングのテーマは四日市市全体のテーマとなっているが、そのテーマでわざわざ遠くの会場まで足を運ぶ人が大勢いるとは考えにくい。実績をつくるためだけに議会報告会を開催しているという受け止め方をされる人もいるのではないかと思う。

→ 議員) 議会報告会は議会基本条例で開催することが定められている。ブロック別に4つの委員会をバランスよく回しており、テーマについても地区が抱えている大きな課題があれば、テーマに選ぶなどの工夫もしているが、こなしている節があるのではという指摘については真摯に受け止めたい。

○地域の文化祭や敬老会など行事にあわせて開催してもらえると、耳を傾ける人もいるのではないかと思う。土日にはなると思うが、平日の夜よりは、足を運びやすいのではないか。人出が見込める場所へ出向いて開催するというのもよいのではないかと思う。

→ 議員) 興味深い意見だと思う。イベントにあわせて開催するというのは一つの案だと思う。

○報告会のテーマが、全体的な大きな話になっているので、学校の話や高齢者福祉の話など、もっと身近な話であれば興味を持つ人のでてくるのではないか。テーマが大きくて理解しにくい状況となっている。

→ 議員) 議会としては、いろいろな意見が出るように広めのテーマにしているが、もう少し絞ったほうが活発な意見がでるのでは、という考え方もあると思う。

○イノシシの話のように、地域に特化した話にすると人が寄ってくると思う。身近な話が少しでも入っていると、もう少し人も寄ってくるのではないかと思う。

○アピール不足だと思う。一般の家庭が議会報告会に興味をもってもらうのを待ってはいけなと思う。アピールの方法を考えてほしい。例えば、選挙の時のように選挙公報を回したり、その地域の自治会長、副会長に出てもらうなどの方法を考えないと、どんどん減っていく可能性がある。

○川島と神前は会場に入りきれないくらい参加者がいた。他の会場との差は何かということがポイントだと思う。

→ 議員) リーダーシップを発揮してもらっている地区は参加人数が多いことが想像される。アプローチ不足が参加者の減少に拍車をかけていると個人的には感じている。

○私は、自治会長をやってから、議員との接点が増えたことで興味が出て、少しずつ議会報告会に参加するようになっていった。議員と直接言葉を交わすということも非常に有効であると思う。負担にはなると思うが、啓蒙してもらえたらと思う。

○組長会議などがある時に頻繁に顔を出してほしい。そういうことが大事だと思う。

→ 議員) 議会報告会をそれぞれ別の日に開催することや、関係者の方々に参加してもらうこともよい案であると感じた。何かを知ってもらうということは、非常に難しいと痛感している。みなさんからの意見を生かしていきたい。

→ 議員) 地域の行事が開催される時に、議会報告会を開催するというのもよいと思った。参考にしていきたい。

○高齢の方が18時半に出向くのは大変であるし、名古屋方面へ勤めている人はその時間までに帰っ

てこられない。1日に2回、昼と夜に分けて開催してもらえたらもう少し広報できるのかなという考えがあるがどうか。

→ 議員) 働いている方は、どの時間帯がいいと思うか。

○19時であれば、間に合うのかなと思う。

○学校に議員が出向いて、議会がどのような仕事をしていて、生活とどのようにかかわっているのかをユーモラスに話してもらい、若い時から議会を知ってもらおうということとはできないか。簡単な話から始めて、もっと知りたいなと思ってもらえるよう、若い人を取り込んでいくというのはどうか。

→ 議員) 市政に関心をもってもらえるよう、市議会が学校へ出向いて意見交換をしたり、市政が子どもたちの未来にかかわることであることを知ってもらう、というようなことも考えていかなければならないと思っている。

→ 議員) 来てもらうのを待つだけではなく、こちらから出向くというような意見も大事にしているかないと、議会報告会の参加者の減少にもつながっていくと思う。知っている議員がいれば一度見てみようという気になるかもしれないと思う。

市議会だよりについて

○市議会だよりは市民と幅広くつながることができる広報媒体であると思うので、発行回数を年間5回から10回に増やして、広報活動の頻度を増やし、もっと市民とつながるパイプを太くしていくような、日常の活動が必要ではないか。

○市議会だよりは重要な媒体だと思っている。トータルでいうと良くできている。100点満点。反対に興味のない人にとっては、読み終わった新聞と一緒に捨てられてしまうのではないか。表紙は良いが、1枚、2枚と開いていくと、読む気がしないのだろうと思う。県議会だよりは目障りがよくて、これくらい内容が表面的で要点だけをまとめられている方がとつきやすいのではないか。

→ 議員) タブロイド判がよいということなのか。カラー刷りがよいのか。

○カラーで見栄えが良く、県の方はとつきやすい。ただ、これでよいのかどうかは、しっかりと検討をしてほしい。

○モニターということで、市議会だよりは、すみずみまで読んでおり、以前の市議会だよりも残している。議会の傍聴をしたものを確認したが、非常に良くできているなと思った。県の広報紙は新聞折り込みなので、こちらの方が捨てられてしまうのかなと思う。

○市議会だよりは非常に有効なツールであると思っており、重要視している。内容的にもしっかり書かれていると思っている。確かにボリュームはあるが、書かれていない部分を書いてもらいたいと思うくらいである。最初はとつきづらいかもしれないが、何回か読むうちに自分にしみこんでいくので、どんどん読みやすくなっていく。

議員) 一般質問の部分の文字の大きさなどはどうか。

○この大きさが大丈夫である。会議録のあの分厚さをこの市議会だよりにまとめてあってすごいなと思う。議員の個人個人の考えもわかって良いと思う。

→ 議員) 議員がどのようなテーマに関心をもっているのかはわかると思う。

○シティ・ミーティングのテーマが市議会だよりに掲載されていないかったため、テーマが分からなかった。

→ 議員) 決定する前に発行されているので、掲載はされていない。年間でテーマを決めていれば掲載できると思うが、タイムリーな議題に対応できないという面もある。

○地区市民センターで掲示してもらおうというのはどうか。

→ 議員) A4のチラシを置いてもらっているが、派手なポスターを掲示しているわけではないので、当該地域には少し大きめのポスターで告知をしていくことも一つの方法だと考えられる。
議員) 市議会だよりに、例えばモニターさんが日ごろ感じていることなどを掲載させてもらおうといったことについてはどうか。

○モニターの見解よりも、一般質問の答弁をしている行政側の担当者の声を反映した方が、読む方は面白いのではないかと思う。

→ 議員) モニターさんだけでなく、高校生、大学生、お子さんのいる方など、議会側からの発信だけでなく、双方向性というのも次の段階としては考えていかなければならないと考えている。

○この意見交換会で出された見解などを、市議会だよりに掲載して市民の目に触れる機会があれば、これから市議会モニターになる方の参考にもなると考える。自分自身がモニターになって、何を話したらよいか、分からなかった。高校生を対象とする、というのは議会報告会や選挙権のこともあるので、若い方たちにも議会報告会のような接点ができたらいいのかなということも思っている。

→ 議員) 来年、また高校生議会というのを開催させてもらうが、高校生議会は、本会議や委員会を経験してもらい、意見交換をしてもらう場であるが、もう少し発展させて双方向でのネットワークづくりも考えていかなければならないと思っている。

○市議会だよりは、これだけ分厚いと、一般の人は読まないと思う。

○一般質問の質問項目は、内容と重複している。目次ということであれば、一般質問の前にもってきた方がよいが、重複はしているので、カットしてもよいのではないかと思う。

→ 議員) QRコードを載せているので、詳しく見ることもできる。項目として、ページをつかう必要はないのではないかという意見もあるし、必要であるという意見もある。なるべく多数の意見にシフトしていかなければならないと思う。

その他

○市長は、朝、駅で演説をしているので、市長のことは意外と子どもたちは知っている。議員のことは誰も言わない。アピールが足りないと思う。もう少しアピールをお願いしたい。

→ 議員) 私も朝、駅で活動しているが、活動していても、知ってもらわないといけない。議員みんなでがんばらないといけないと思う。

○投票率が48%になっている。今のようなことで、もっと投票率が下がる。四日市市をこれから支えていく人に親近感を感じてもらわなければならない。自分たちの代表を選んでいるんだという感覚が薄いと個人的には思っている。

→ 議員) 議会は最終的に議決をしている大切なところであることを知ってもらうためにも、市議会だよりは非常に大切であるため、少しでも読んでもらえるよう一歩一歩進めているが、中身についてはこれからのので、ぜひ意見を聞かせてほしい。

○できるだけ顔を覚えてもらうために、自治会の場、運動会、文化祭などに出てもらって議員の顔と名前を覚えてもらうと、市議会だよりも見てもらえて、この議員はどんな見解をもっているのかなと興味を持つと思う。高校生に対する企画を考えてもらうこともいいかなと思う。

議会報告会のあり方について

○三重地区市民センターで開催された議会報告会に参加したことがある。積極的に情報発信する市議会の姿勢は評価できるが、道路認定の議案に対する参加者からの質疑に回答できない議員の姿を見てがっかりした。事業に精通した市職員を同伴させるなど、有意義な報告会にするための工夫が必要である。また、シティ・ミーティングは市議会議員と意見交換をする良い機会であったが、先進事例の紹介といった情報提供があるとさらに有意義な議論ができたと思う。

→ 議員）議会報告会は市議会が主体となって行う取り組みであることから、執行部を同伴させることは難しい。シティ・ミーティングに関するご意見はもっともだと思うので、検討したい。

○議会報告会の参加者数が少なく、また、意見する人も限定的であり残念に思った。普段は自転車で移動しているので、家から近い場所で開催してもらえると参加しやすい。

→ 議員）マンネリ化している議会報告会改善に向け、検討を進めているところである。神前地区で開催した令和元年8月定例月議会における教育民生常任委員会の議会報告会は部屋がいっぱいになるくらいの参加者数があった。地域性なども考えられるが、全体的に若者の参加が少ないことは課題であると認識している。平日の夜間の開催であることから、現役世代の参加が少ないと分析しており、課題解決に向けて休日の開催も行っているが、明確な効果はわからないのが現状である。

○常任委員会ごとの開催だとテーマや報告事項が限定されてしまうため、有意義な議論ができない。一般質問よりも委員会での議論に興味を持っており、常任委員会の所管に限らず、横断的なテーマ設定とすべきである。

○議会だよりやホームページなど、様々な媒体を駆使して情報発信をしており、議会報告会による市民への情報提供に固執する必要はないのではないかと。特に若年層はインターネットを通じて情報を取得していると思われるため、議会報告会以外の手法を充実させるべきであると考えます。

○単純に参加者数を増加させたいのであれば、いっそのこと要望会にする手法も考えられる。

○議会報告会と市政報告会の違いが分からない。また、どのような議題を取り扱うのかもわかりづらく、意見を言っても議会の立場ではできないという回答を聞くと、参加する意欲が薄れてしまう。ぜひとも地域をよくするための議論の場としてほしい。

→ 議員）市政報告会は議員個人が行う場合が多い。参加者にもう一度行きたいと思ってもらえるように取り組みたい。

○「議会報告会」という名称からは一方的に報告するイメージを受け、また、硬い印象を受けるので敷居が高い。地域のことを話し合う場として、住民が市政に参加できることが伝われば参加者が増えるのではないかと。

○夜間の開催は参加しにくい。人が集まるイベント等に便乗する形で議会報告会を開催することで、参加者数の増加が見込めるのではないかと。難しい印象が強く、議案が提出される背景や議決に至る流れが見えるようにすべきである。

- 参考程度でいいので市民意見を聞き取り、市政に反映できるようにしてほしい。
- 議会報告会には出席したことがないが、回答がはっきりしないのは問題である。
- 議会報告会という名称だと親しみにくい印象がある。シティ・ミーティングをメインにして市民と議員の意見交換を充実させてはどうか。
- シティ・ミーティングという名称からはどのようなことを行っているのかわからない。取り組み内容が分かる名称にすべきである。

議会報告会の開催日時について

- ・現状のままで良い：4人
- ・土曜日、日曜日、祝日の開催が望ましい：1人
- ・平日の昼間の開催が望ましい：2人

また、実施方法については、常任委員会の所管事項にとらわれず、幅広い内容を聞きたいという方が3名いらっしゃった。

市議会だよりについて

- 議会だよりを通じて各議員が感じている市政の問題点を把握するようにしている。執行部の曖昧な答弁が気になる。
- 定例月議会の報告だけとなると興味をひかないため、例えば、市議会だよりを毎月発行し、定例月議会がないときは議員の普段の活動を紹介するなど、市民がより身近に議会を感じ、議会と市民の距離感を近づけるような特集を掲載してみるのもよいのではないか。一方で、費用対効果の検証も必要である。
- 8月定例月議会号の発行日が11月5日となっているのはなぜか。
 - 事務局) 8月定例月議会は8月28日を初日とし、最終日である10月4日まで開催された。本市議会では初日が開催される月をとって定例月議会の名称としているが、実際は10月4日までの議論の内容を編集し、11月5日に発行していることをご理解いただきたい。
- 8月に行われた議会の内容を11月に発行していると誤解されやすいと考えるため、10月4日まで開催されていたことをわかりやすく表示すべきであるとする。
- 定例月議会の内容に固執せず、およそ四半期ごとに発行する手法も考えられるのではないか。JAの発行する広報誌では特集を組んで読みたくなるような紙面づくりをしているので参考にしてみてもどうか。
- 市民の多くは8月定例月議会が10月4日まで開催していることを知らない。8月定例月議会号という文字が目立ちすぎていることが誤解を生む要因であるとする。
- 表紙に分かりやすく開催日程を示すなどの工夫が必要である。
- 定例月議会の内容だけでなく、市民が読みたくなるよう、内容の充実が必要である。
- 使用されている言葉遣いが分かりづらいと感じる。
- 6月定例月議会号は比較的文字が大きく読みやすいが、8月定例月議会号は情報量が多く、読みづらく、内容を詰め込みすぎているのではないか。一般質問を読む方は多いかもしれないが、そのほかはなかなか読む気になれない。

○インターネットによる情報発信が進む現在においては、紙媒体による情報発信は要点だけを抜粋し、詳細内容はホームページ等に掲載することで補完するといった手法が必要ではないか。

→ 議員) QRコードを市議会だよりに掲載し、一般質問の動画にアクセスしやすいようする取り組みを今年度から始めたところである。

○紙面の情報量を削減することで印刷費等の削減効果も期待できるのではないか。

→ 議員) 市議会から情報を発信したいという強い思いから、情報量が多くなってしまう。今後も議論を続け、議会だよりをリニューアルしていきたい。

→ 議員) 表紙のリニューアルやフォントサイズの変更等についても議論しているところである。

その他

○市議会モニターとの意見交換会のテーマ設定等が予めわかっているならば、情報収集したり、モニターとしての意見をまとめるなどの事前準備ができ、有意義な意見交換ができたはずである。市議会モニター研修会でも意見したが、モニターとして選任される5月時点で年間スケジュールやモニターとしての職務等を説明してもらえると助かる。

○市議会モニターとの意見交換会とは聞いていたが、3班に分かれて意見交換するとは想像していなかった。市議会モニターの参加率も低く、実施する内容やテーマが十分周知されていないのではないか。

○幼少期に議場を見学することはよい経験になると考えているが、小学生が議場見学をすることはあるのか。

→ 事務局) 学校からの依頼を受け、議場見学をしてもらうことはある。

→ 議員) 昨年度から高校生議会を開催している。以前は中学生を対象とした子ども議会を開催したこともある。